

マイヒーロー・カードでつたえ合おう

() 組 なまえ _____

領域・形態・時間	話すこと〔発表・やり取り〕 カードづくり15分＋伝え合い20分×2時間
ねらい	あこがれの人の得意なこと・人がら・「なぜその人か」を3文で伝え合う（単元ゴール）。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Choose your hero. Anyone is OK!
あこがれの人を1人決める（家族・友だち・先生・コーチ…だれでもOK）
- 2 Fill in your hero card.
下のカードに書きこむ。ことはバンクから選んでよい
- 3 Who is your hero? — My hero is
ペアで練習してから、相手を替えて3人に伝える
- 4 Say why! He [She] is kind.
聞く人は Why? とたずねる。そこに答えるのがこの単元の山場

マイヒーロー・カード 3つの文と、ひとことの「なぜ」

だれ？（he・she に○） My hero is	_____
得意なこと He [She] is good at	_____
人がら He [She] is	_____
なぜその人？ 日本語でOK	_____

ことばバンク 選んで使おう（絵カードのことばも使えるよ）

得意なこと（is good at のあと）：

cooking

singing

dancing

running

swimming

drawing

playing the piano

soccer

English

人がら（is のあと）：

kind

funny

brave

friendly

cheerful

smart

cool

gentle

kind やさしい／funny おもしろい／brave ゆうかん／friendly 人なつこい／cheerful 元気／gentle おだやか

聞く人のことば：Who is your hero? / Wow! Nice! Really? / Why? / Me, too! / Thank you!

ルール

①ヒーローは家族でなくてよい ②その人が聞いてもうれしい言い方に ③見た目や持ち物のことは言わない ④聞く人はかならず Why? を1回きく

☆レベルアップ！ 3文を見ないで言えたら「ヒーロー・スピーカー」。カードを黒板に貼れば「クラスのヒーロー図鑑」。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・ 下書き→仕上げ→本番と日を分ける。1時間に詰めると必ず崩壊する
- ・ ◎第5時の見取り（知技）はカードの3文。He/She と is good at の形が書けているか
- ・ 中間指導は「Why? に答えられた子」を1人だけ全体へ。紹介の質が変わる

中間指導の進行台本（第6時）

この紙は先生用（1部だけ）：主活動の20分を「1回目 → ことばの補給 → 2回目」のサンドイッチにする先生用の台本。1回目で言えなかったこと——特に Why? のあと——を、同じ20分のうちに「言えた」に変える。時間は1分も足さない。

20分のサンドイッチ 第6時の主活動20分＝ヒーロー紹介大会①を「サンドイッチ」にする

分	やること	先生のうごき
0-7	紹介大会1回目（1人目→2人目）	1人2分×2人。先生は「Why? に答えられなかった子」を見つけておく
7-9	あつめる：言いたかったのに言えなかったこと	「日本語でOK」と先に宣言する。紹介側と聞く側（Why? のあと）の両方から
9-12	英語にする：下の補給表から黒板へ	近いものを書き写し、全員で2回ずつ声に出す（先生がその場で英語を作らなくてよい）
12-13	自分の台詞にもどす	さっき言えなかった子が、となりに向かって1回言えたら準備完了
13-20	紹介大会2回目（3人目へ）	「Why? に1文返せたら5年生の卒業級」。もう一度言いたい相手のところへ戻ってもよい

ことばの補給表 「言いたかった」を、ここから黒板に書き写すだけ

言いたかったこと	こう言える	ひとこと
どうして？と聞きたい	Why?	この単元の合いことば——質問が紹介を完成させる
（Why? と聞かれたら）	He is kind.	人がらの文をゆっくりもう一度＝それが理由（because はまだ使わない）
わたしのヒーローも同じ！	My hero is my mother, too!	too をつけるだけで会話がつながる
だれ？聞きとれなかった	Who? One more time, please.	Who? は「だれでしょうクイズ」（Unit 4）のことば
サッカーが得意なんだね？	Good at soccer?	語尾を上げてくり返せば、たしかめの質問になる
すごい！カッコいい！	Great! / Cool!	あいづちは3人取材の燃料
ことばにつまったら	（カードを指して）My hero.	カードを指して仕切り直せばいい
ありがとう、またね	Thank you! See you!	3人ローテの終わり方

表にないことばが出たら
「命の恩人」「そんけいしている」のようなことばは、無理に英語にしない。「人がらのことば（kind / funny / cool）に近づけてみよう。今日は日本語＋ジェスチャーでOK」と返す——まちがった英語をその場で作らないことがいちばん大事。

先生へ（この20分の勘どころ）
・この20分は主活動そのもの——時間は足さない。第7時の紹介大会②も、この台本と同じ進行で回せる
・この単元の補給は Why? のあとの立て直しに全振り——5年の集大成は「理由まで言えた」ではなく「Why? で会話がこわれなかった」でいい
・2回目のあと「Why? と聞けた人？答えられた人？」と挙手で確認して終える——増えた実感が卒業前の自信になる
・はやい子には記録役（「言えなかった」を1つ選んで発表）。先生役は頼まない——本人の練習の機会を奪う